

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

5-I-7

5-I  
-7

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	児童・生徒への取組
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	7 新潟県佐渡金銀山出前授業		事業主体	県文化行政課
	事業実施期間	H28～R4		関連団体
事業概要	【事業目的】	○佐渡を除く県内の児童・生徒へ佐渡金銀山の正しい理解と関連文化産業とのつながりを分かりやすく紹介し、佐渡金銀山に関する知識向上と、郷土愛の醸成を図る。		
	【事業内容】	○佐渡を除く県内小・中・高校生を対象に、佐渡金銀山に関する授業を継続的に開催する。		
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●佐渡を除く県内120校以上の小学校で授業実施を目標とする。 (平成29年度実績114校)		
	【30年度実績】	●佐渡市を除く県内441校中138校で実施した。 ●初めて今年度、中学校の利用が1件追加された。		
課題・今後の取組	【課題】	■新潟市外遠隔地の利用を増やす必要がある。 ■中学校の利用を増加する必要がある。		
	【今後の取組】	■平成30年度に引き続き、主に講師を務める「佐渡を世界遺産にする新潟の会」と協議のうえ、中学校を含む実施校の増加を目指す。		
事業評価	【事業の達成度】	( a ) b ・ c ]	目標120校に対し、138校の小中学校で実施できたことから、Aとした。	
	【事業実施の効果】	( a ) ・ b ・ c ]		
	【総合評価】	( A ) ・ B ・ C ]		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。